

■イベントオブジェクトビーコン発信(設定)方法 UI-View32 編

2009/01/25 JAPRSX [JF1AJE]

■イベント報知のためのオブジェクトビーコン

イベント(ハムの祭典、ハムの集い、ハムフェスティバル等)報知のためのオブジェクトビーコンは、そのイベントに接近する(目指す)移動局にイベントの場所や開催日時を知らせることが最大の目的です。従ってこのビーコンはイベント会場周辺に RF で発信するのがベストです。

APRS 仕様 V1.2 では、イベント報知のオブジェクトを特別なコール「HFEST-xxx」として定義しています。このビーコンはイベントが1ヶ月後になった時点から発信できます。

以下は APRS 仕様 V1.2 に準拠したオブジェクトビーコンの UI-View32 による発信方法です。

■UI-View32の設定方法(例)

① MainScreen: Setup →Station Setup

→Unproto address →"APRS,JF1AJE-1"

UI-View32 のオブジェクトビーコンのデジパスは、局ビーコンのデジパスと同じなので、ココで設定してください。

イベント開催場所およびその周辺の移動局が受信できるようなデジパスを設定してください。

② MainScreen: Setup →Miscellaneous Setup

→Object interval →"30"

ビーコンインターバルは前日まで30分程度。

当日はインターバルを10~20分程度に変更すると、移動局がビーコンを受信しやすくなります。

③ MainScreen: Action →Object Editor

→Identifier →"HFEST-24a"

"-24"は直近の×月24日にイベントが開催されるという意味です。(今日が1/25の場合は2/24に開催されるという意味です。2/25以降のイベントのオブジェクトは発信できません。なぜなら2/26のイベントオブジェクトは"HFEST-26x"となり、1/26と2/26の区別が出来ないからです。)

"a"は同日に開催される世界のイベントで順番に使用します。後述[補足]に示したURLを確認し、既に同日のイベントオブジェクトが"a"を使用している場合は"b"や"c"等を使用します。

→Latitude →"35.37.73N"

→Longitude →"139.47.72E"

→Comment →"438.840MHz_HamFair_TOKYO_8/22-23/10am-17"

1234567890123456789012345678901234567890 ← 文字数(max40文字)

イベント開催場所の座標です。コメント部分は連絡周波数、日時を基本とします。

文字数はTM-D710で体裁よく表示(25文字+15文字)されるように構成するとFBです

上記の場合、TM-D710の一行目に「438.840MHz_HamFair_TOKYO_」と表示され、二行目に「8/22-23/10am-17」と表示されます。

→Symbol →“HAM store”

“HAMstore”シンボルですが、仕様 v1.2 では HAM Festa を意味するシンボルとしても使用します。

→O'ly →“無し”

→Active object →ON(チェック)

最後に“OK”釦押下でオブジェクト発信開始です。

尚、イベントが終了したら、Identifier のドロップダウンリストで“HFEST-24a”を選択し、右上の Delete 釦押下で全 APRS 局の地図に表示されていたオブジェクトシンボルは削除され、ビーコン発信も停止します。

[補足]

このイベントオブジェクトはAPRS仕様v1.2に準拠し、世界共通で使用されるものです。このビーコンを発信すると、FindUの「HFEST Location」のページ

http://www.findu.com/cgi-bin/find.cgi?HFEST* にリストアップされます。

このページは全世界のAPRS局が近々(向う1ヶ月以内)開催される世界のイベントを一覧するためのものです。(複数局がHFESTビーコンを発信すると、リスト形式の表示になる)

尚、個別のIBミーティングなどは通常の“Eyeball”シンボルによるオブジェクトで構いません。